

2005年度 事業報告

1、事業実施の報告

2001年10月に任意団体として活動を開始したOurPlanet-TVは、2005年4月23日に内閣府より特定非営利活動法人の認証を受け、同月28日に特定非営利活動法人OurPlanet-TVとして登記を行った。法人化を契機に、今年度は多彩な活動を展開した。

特に、国内外から番組企画を公募し制作を支援する「トーチプロジェクト」は、マスメディアなどでは見落とされがちなテーマに光を当てる新たな試みとして大きな反響を呼んだ。ユニークで意欲的な企画が多数寄せられ、選考には難航したが、最終的に8企画を選出して、制作の支援を行っている。

また事務所の移転に伴い、5月には市民のメディアセンター「メディアカフェ」をオープン。メディア総合研究所および放送批評者懇談会のご協力によって、故青木貞伸氏の遺したメディア関連を中心とした1400冊の書籍を公開している。この「メディアカフェ」も様々なメディアで紹介され、映像制作や情報発信の拠点として、開設以来7ヶ月の間にのべ1000人以上の市民が利用した。

メディアカフェのオープンにともない、OurPlanet-TVでは、NPO法人との連携を深め情報発信の支援を強化しようと、6月から月1回広報セミナーを開催した。このセミナーには毎回定員を上回る受講申し込みがあり、好評を得ている。また、映像の委託制作に関しても、25周年を迎えた日本国際ボランティアセンター（JVC）をはじめ、非営利団体や企業の社会貢献部門から依頼が増えた。

2004年より開催しているワークショップとレギュラー番組「Planet-Eyes」はともに参加者・制作者のレベルアップが見られ、活性化している。中でも、2005年8月にWEB公開した「みんな空でつながっている～イラク拘束事件・今井紀明君に会って」は、制作者が大学生であり、かつ自ら全国を周って上映活動を行ったこともあり、若い世代を中心に大きな反響があった。この番組に関連して9月には、今井紀明君と制作者とのトークイベントを実施。インターネットでライブ中継を行った。

(1) 会員数（2005年12月末日現在） 正会員：36人 賛助会員：個人63人・法人6団体

(2) 従業員の状況

フルタイムスタッフ3名（前年比増減 0名）

(3) 活動の拠点

東京事務所・京都事務所

2、事業実施に関する事項

—インターネット放送に係る事業—

(1)市民の視点や人権・環境を考慮にいたした番組の制作

Planet-Eyes 継続

【事業内容】

2004年度より開始した事業で、OurPlanet-TVで活動しているメンバーがオリジナル番組（5分～15分）を制作し、配信している。2005年2月には、2004年に制作した「ぼくらの学校なくなるの？」（制作：近藤剛・後藤由耶）が東京ビデオフェスティバルの優秀賞に選ばれた。2005年度は5本を制作、WEBサイトに掲載した。

【実施期間】2005年1月～12月

【実績】

2月「見えないあなたと美術館へ～視覚障害者美術鑑賞の取り組み」制作：河原由香里

5月「あなたと会う日のために～長島・愛生園での半世紀」制作：天木リウ

7月「笑顔が生まれるとき～自閉症アスリート・日野暁生さん」制作：保田則子

8月「みんな空でつながっている～イラク拘束事件・今井紀明君と出会って」制作：橋爪明日香

9月「チェーイーをささえよう」制作：近藤剛

【担当】白石

Touch Project 新規

【事業内容】

埋もれている企画の発掘や、マイノリティーなどの当事者発信を支援する目的で新設。4月から2月間にわたって公募を行った第1回アワプラ企画賞には国内外より計62の企画が寄せられた。応募企画は予想以上に内容の濃いものが多く、当初予定していた3作品の受賞枠を大幅に拡大し、最終的に8つの企画を受賞作品に決定した。審査基準は以下の通り

- (1) 日の当たらない世界にフォーカスしたもの
- (2) 具体的な取材対象が明確なもの
- (3) 是非、見てみたいと思わせる切り口・エピソードなどが盛り込まれているもの
- (4) この賞を受賞しなければ、今後、番組化される可能性が低いもの
- (5) 全体的な受賞のバランス

なお、この事業は、SEED Cap Japan（社会起業家育成支援プログラム）の助成金を受けているほか、日本ビクター株式会社よりビデオ機材、アドビシステム株式会社より映像編集用ソフトウェアを、それぞれご提供いただいている。

【実施期間】企画公募 2005年4月～5月

企画選定 2005年6月

制作支援 2005年8月～2006年7月予定

【担当】統括：白石 スーパーバイザー：小林りか・坂上香・小山帥人・六本良太

【受賞企画】

『日本が残したハンセン』(土屋トカチさん)

戦時中、日本が植民地としていた韓国・台湾にもハンセン病療養所がある。当時収容された人々は高齢化が進み、生活にも困窮している。日本のハンセン病隔離政策の犠牲者の声を伝える。

『子供たちの復学をサポートする小児がん支援団体の新たな試み』(NPO法人エスピーロー)

小児がんは昔に比べ治るようになってきているが、生きていくうえでクリアすべき課題も多い。その最初の障壁となるのが、退院してからの復学である。本企画は、患児が復学をうまく乗り切るには何が必要か?を専門家へのインタビューを交えて考察した後、当団体の医療学習の受講、そして総合学習の時間を活用する試みを追いかけ、その実際の効果の検証に迫る。

『のりこ節フラメンコ』(岡田理絵)

日本人フラメンコダンサーの「フラメンコは演歌や歌舞伎などの日本芸能に共通するものがある」という言葉を手がかりに、彼女独自の文化論、しいては日本芸能とフラメンコに通じる大衆文化のエッセンスに迫ろうというものである。

『ホームレスによる大阪・紙の芝居劇場』(NPO法人こえとことばとこころの部屋)

平均年齢 72 歳の元ホームレス有志による演劇的紙芝居の東京公演を実現しようとする、「大阪・紙の芝居劇場」実行委員会の餘吾康雄さんを紹介する。

『名古屋刑務所事件から 3 年～日本の刑務所は変わるのか』(NPO法人監獄人権センター)

02 年 10 月に発覚した名古屋刑務所での暴行死傷事件。被害者の苦しみは今でも続いているが、メディアに取り上げられることはほとんどなくなった。あれから 3 年たった今、被害者のこの 3 年間に振り返り、日本の刑務所のあるべき姿について考える。

『ハラケンのただいま青春』(NPO法人コミュニティーハウス 原順子)

小学校 2 年生の息子が不登校となった母親が、子どもとともに活動を広げ、現在、不登校・いじめ・障害をもつ若者たちのフリースペースを提供している。その当事者たちの記録。

『爆撃機ウェアールフ～もうひとつの東京大空襲』(青森空襲を記録する会)

1945 年 1 月 27 日東京空襲にやってきた一機の B 2 9 爆撃機が静岡県富士宮市に墜落した。パラシュートで脱出した 4 人は東京に送ら、病死の 1 人を除く 3 人は憲兵隊の留置所で東京大空襲に遭遇。その後渋谷陸軍刑務所に転送され、5 月 25 日の渋谷空襲で全員焼死した。戦後 60 年。当時の副パイロットだった少尉の娘が来日。父の足跡をたどるとともに富士宮市民と交流する。

『入れ歯作りの現場から国民への警鐘』(東京都歯科技工士会 加藤雅司)

歯科医療の内側に長年起きていて、国民に知らされていない経済構造・利権構造を明らかにし、日本歯科医療、入れ歯・差し歯作り(歯科補綴)が患者にとって一番良いシステムに改革されていくきっかけづくりに貢献したい。

※ 企画の説明文は応募書類をもとに掲載した

実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
4月～3月 各月2回	東京都 千代田区	30人	従来のマスメディアとは異なる視点のメディアを求める不特定多数	1,793

(2) 人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

Preview & Review . . . 継続

【事業内容】

優れたドキュメンタリー映画の予告編をWEBページに掲載し、上映情報をEメールで配信している。また10月に開催された山形国際ドキュメンタリー映画祭にも参加し、優れたドキュメンタリーの発掘に力を入れている。

【実施期間】

2005年4月から11月

【実績】

4月 海女のリャンさん 監督・脚本：原村政樹

5月 Little Birds 監督：綿井健陽

7月 マンゴと黒砂糖 監督：鯨エマ

8月 T A I Z O 監督：中島多圭子

9月 私をみつめて 監督：木村 茂之

11月 ザ・コーポレーション 監督：マーク・アクバー、ジェニファー・アボット

【担当】 保田則子

WEB サイトの英文化 . . . 新規

【事業内容】

WEBサイトの主要なコンテンツを英文化・多言語化し、海外からのアクセスが行えるように取り組んでいる。具体的には、ボランティアによる翻訳チームが日英翻訳を行い、理事でもあるピーター・バラカン氏がネイティブチェックを実施した。

【実施期間】

2005年10月から12月

【実績】

About Us /Staff

Planet-Eyes/ Planet-Blinks/Preview-Review/Media Café

【担当】

翻訳チーム：賀来華子 ネイティブチェック：ピーター・バラカン

翻訳チーム：中山道子・東秀一・斉藤ミキ・WEB制作：安岡洋史

実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
4月～3月 2月に1回	東京都 千代田区	4人	優れた海外作品を見たい、または日本作品を海外に紹介したいと考える不特定多数	28

—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

(3)子ども・市民のための映像制作教育

映像ワークショップ . . . 継続

【事業内容】

OurPlanet-TV の映像ワークショップは、企画・構成・取材・編集・完成に至る全ての制作プロセスを3ヶ月10回のコースで習得することを目指している。他の映画系ワークショップとの違いは、映像制作を個人の表現活動や楽しみで終わらせるのではなく、他の人に「ものを伝える」ための手段として、映像にどう向き合うかということに重点を置いている点である。従って、ビデオ機材や編集機材を使いこなせるだけでなく、観た人に理解してもらえるストーリーの組み立て、すなわち構成の立て方をきちんと学んでもらえるように工夫している。グループ制作では毎回熱心な議論が交わされるため、指導する側も刺激を受けることが多かった。アットホームであり、毎回個性的な面々がユニークな企画に取り組む同ワークショップは、OurPlanet-TV が実施している多くの事業の中でも、最も OurPlanet-TV らしい事業のひとつと言える。

【実施期間・実績】

2005年春ワークショップ 4月～7月 参加者：9人

2005年夏ワークショップ 8月 参加者：3人

2005年秋ワークショップ 10月～12月：7人

【担当】

企画・広報・ファシリテーター：白石

撮影講師：若尾泰之

企画・構成講師：小林りか・下村健一

音声・編集講師：近藤剛

子ども向けワークショップ . . . 新規

【事業内容】

埼玉県川本町の公共施設で、子ども向けのワークショップを実施した。参加した子どもは小学校4年生～5年生12人。初めてカメラを持つ子どもたちに、カメラの撮影や編集について教え、最終的に地元の公園紹介ビデオを制作した。

【実施期間】

2005年4月～5月 計3日間

【実績】

埼玉県川本町の小学生12人(4年生～5年生)

【担当】

企画・運営・技術講師：白石草

ファシリテーター：林大貴

アシスタント：鈴木真樹子

講師派遣・・・継続

【事業内容】

映像ワークショップやノンリニア編集などの講師を必要としている団体、地方自治体などに講師の派遣を行った。またメディア関連の研究会・シンポジウムなどに講師・パネリストとして参加している。

【実施期間・実績・担当】

- 6月 「デジタル時代のテレビジャーナリズム研究会」(上智大学) 白石
7月 宇治シネパック(京都) 白石・池田
7月 非営利放送研究会(京都) 白石・池田
7月 ツールドコミュニケーション主催勉強会(神戸) 白石・池田
8月 JICA開発途上国テレビ研修コース(3日間) 白石・近藤剛・石田万梨奈
10月 杉並区男女共同参画センター・東京女子大学公開講座「ビデオ入門」(3日間) 白石・近藤
10月 コムフェスタ2005(龍ヶ崎)
11月 法政大学多摩キャンパス記念シンポジウム「オルタナティブ・メディアを作る」 白石
11月 Internet Contents Festa2005(慶應大学) 白石
11月 マイノリティーメディア交流集会(神戸) 白石・橋爪明日香
12月 アジア女性資料センター主催メディア指南塾 白石

JICAアフリカ放送局視察・・・新規

【事業内容】

昨年度、今年度と講師を派遣しているJICAの開発途上国テレビ研修にて評価を得、2006年度から新規事業として開始するアフリカ地域別研修のプログラム開発に参加することとなった。アフリカ向けの新たなトレーニングプログラムを開発するに当たって、11月にJICA職員・NHK放送研修センターの担当者とともにアフリカ2カ国(ケニア・ウガンダ)の放送局4局およびメディア教育施設を視察した。同視察を踏まえ、12月にJICAに対し、新プログラムを提言。2006年4月より本格的実施に入るテレビ番組制作アフリカ地域別研修の研修にOJTコーディネーター及びフォローアップの担当として参加する方向で固まっている。

【実施期間】

11月5日～11月11日

【視察箇所】

・KIMC(ケニアマスコミ研修所)・KIE(ケニア教育研究所)・KBC(ケニア放送公社)・KTN(民間TV局)・UFTI(ウガンダ・フィルムTV研修所)・WBS(民間TV局)・UBC(ウガンダ放送公社)

【担当】白石

実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
年16回	東京都 ほか	6人	映像を学びたい市民と子どもおよそ80人	366

(4)市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

メディアカフェ・・・新規

【事業内容】

市民が映像制作を気軽に行えるメディアセンター「メディアカフェ」をオープンし、映像制作のアドバイスや機材提供を行った。また、メディア総合研究所および放送批評者懇談会のご協力によって、ジャーナリスト故青木貞伸氏の遺した書籍の寄贈を受け、青木文庫を開設。1400冊を超えるメディア関係書籍を公開している。この書籍は全て、NPO法人JCAFÉの展開するインターネットサービス「NPO-Webdesk」のデータベース上に情報を掲載したことで、インターネット上で所蔵書籍の検索が可能となっている。

【実施期間】

5月20日(金) プレス公開 5月21日(土) 一般公開
5月～12月 毎日11時～18時オープン (夜間は予約制・日祝休業)

【実績】

利用者・・・7ヶ月間でのべ1000人利用

【機材環境】

カメラ4台・ノンリニア編集機3台・プロジェクター1台 ほか

【担当】

運営：池田

機材管理：近藤・白石

NPO-Webdesk：平井詩乃 ほか ボランティアスタッフ

NPOのための広報セミナー・・・プログラム新規

【事業内容】

NPOとの連携を深め、Ourplanet-TVのリソースを社会に提供するために、6月よりNPOのための広報セミナーを開始。毎回、定員を上回る申し込みが続き、計5回でのべ60人が受講した。受講者の中には、これからNPOを立ち上げる団体やグループのリーダーもあり、この講座をきっかけに新聞に記事が掲載されたことで、全国的に運動を広げる団体も誕生した。

【実施期間】

2006年6月から12月

【実績】

6月：マスコミ掲載術・8月：インターネット活用法・9月：ビデオ活用法
10月：マスコミ掲載術・11月：インターネット活用法

【担当】白石

実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
日曜・祝日以 外の毎日	東京 千代田区	10人	映像を制作したい市民やNPO関係者など およそ200人	443

(5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

映像の委託制作・・・継続

【事業内容】

NPO 法人 JVC（日本国際ボランティアセンター）などのNPO、笹川保健記念財団などの財団、マイクロソフト株式会社などの企業から様々な依頼を受け、啓発・社会貢献に関するビデオの制作受託を行った。

【実施期間・実績】

4月 アースデー2005 ビデオメッセージ
 5月 マイクロソフト CSR 紹介ビデオ
 6月 マイクロソフトUPプログラム（障害者支援）紹介ビデオ
 8月 IAEA 報告用チェルノブイリ医療支援ビデオ
 10月 NPO 法人 JVC（日本国際ボランティアセンター）25周年記念ビデオ
 10～11月 マイクロソフト企業市民活動ビデオ、女性UPビデオ、産学連携活動ビデオ
 12月 NPO 法人健康麻将全国会活動紹介ビデオ ほか

【担当】

プロデューサー：近藤剛／クリエイティブパートナー：東志津・松林要樹

ビデオ制作支援・・・新規

【事業内容】

自らビデオ制作を行っているNPO法人ユニークフェイスに対して、ビデオの制作のアドバイスや編集を行った。

【実施期間】4月～12月

【実績】映画「ユニークフェイス・ライフ」の編集サポート

【担当】白石草

ストーリーミング支援

【事業内容】

WEBサイトによるイーラーニングを検討していた英語サークルNPO法人ETMに対し、ストーリーミング導入に関するコンサルティングを行った。具体的には団体スタッフ向けのエンコードセミナーの実施、導入のためのコンサルティング、動画配信サイトの構築を行った。

【実施期間】10月～12月

【実績】NPO法人ETM 英語サークルのイーラーニング化支援

【担当】白石

実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
随時	東京 千代田区	10人	社会貢献について組織内もしくは社会にア ピールしたい企業・他NPO団体50団体	10,589

月別活動一覧

1月	阪神淡路大震災記念事業 ライブ配信・コンテンツ制作受託 2005年冬ワークショップ開始
2月	Eyes#12「見えないあなたと美術館へ」配信 東京ビデオフェスティバルにて、「ぼくらの学校なくなるの？」が優秀賞を受賞
3月	埼玉県にて子どものためのワークショップ実施 ICTスキルアップ推進プログラムの紹介ビデオ委託制作
4月	2006春ワークショップ開始 トーチプロジェクト公募開始 特定非営利活動法人の認定を受け、登記
5月	事務所移転, メディアカフェがオープン フェンドレイズ・チーム結成 マイクロソフト CSR の紹介ビデオ委託制作 Eyes#13「あなたに会う日のために」配信
6月	NPOのための広報セミナースタート トーチプロジェクト受賞者決定
7月	宇治シネペック映像祭に参加 非営利放送研究会に参加 台湾TVによる取材 Eyes#14「笑顔が生まれるとき」配信
8月	Eyes#15「みんな空でつながっている」 配信夏季集中ワークショップ実施 スーパーバイザー制度スタート JICA 開発途上国TVトレーニングへ講師派遣 IAEA 報告用チェルノブイリ医療支援ビデオを制作(笹川保健記念財団) Eyes#16「チェーイーをささえよう」
9月	全国市民メディア交流集会に参加(熊本県) みんな空でつながっているライブトークイベント(ポレポレ坐)実施・ライブ配信 2006年秋ワークショップ開始
10月	東京夢舞いマラソンインターネット中継 ニュースレター「Offline⇔Online」創刊 オープンデー開始 NPO法人JVC(日本国際ボランティアセンター)25周年ビデオ制作
11月	フェンドレイズキャンペーン開催 JICA番組制作アフリカ地域別研修の事前調査でアフリカ出張 多様なマイノリティメディアのつどい参加・ライブ配信
12月	NPO法人健康麻将全国会PRビデオ制作

2005年度 会計報告

収支計算書

(会計期間 2005年4月28日～2005年12月31日)

分類	科目	補助科目	借方金額	貸方金額	残高
収入の部	会費収入	正会員		40,000	
		賛助会員(個人)		140,000	
		賛助会員(団体)		0	
		活動会員		40,000	
	入会金収入	正会員		0	
	寄付金収入			516,080	
	事業収入	番組制作及び情報提供収入		667,020	
		映像作品紹介収入		10,000	0
		メディア教育収入		1,324,724	
		情報発信支援収入		1,243,332	
		社会貢献メディア支援収入		13,501,278	
	受取利息			33	33
	前受金収入	2006年度入会金・年会費		343,500	343,500
	預り金収入	源泉所得税		245,450	245,450
	雑収入			21,120	21,120
合計			0	18,092,537	
支出の部	賃貸料支出		800,000		
	印刷製本費支出		335,664		
	新聞図書費		34,204		
	事業支出	番組制作情報提供支出	1,793,524		
		映像作品紹介支出	28,110		
		メディア教育支出	366,718		
		情報発信支援支出	443,804		
		社会貢献メディア支援支出	10,589,238		
	通信費支出		281,901		
	荷造運送費支出		122,424		
	消耗品費支出		181,803		
	旅費交通費支出		197,290		
	水道光熱費支出		202,133		
	会議費支出		35,357		
	支払手数料		55,541		
	預り金支出		233,010		
	諸会費		1,312		
	合計			15,702,033	0
差引残高		2,380,504			
次期繰越					610,103

貸借対照表

2005年12月31日現在

科目 ・ 摘要	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	14,152,831		
流動資産合計		14,152,831	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			14,152,831
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	11,762,327	11,762,327	
当期正味財産増加額		2,390,504	
正味財産合計			14,152,831
負債及び正味財産合計			14,152,831

財産目録

2005年12月31日現在

科目 ・ 摘要	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	11,892,625		
現金	12,456		
郵便貯金	6,820		
郵便振替	2,240,930		
流動資産合計		14,152,831	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			14,152,831
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		-	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産合計			14,152,831